

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	博物館	■担当係	博物館
■評価事業名称	民俗村芸能公演		
■評価事業コード	402200 - 018	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	来館者サービスとともに、民俗芸能の保存と振興を図る。民俗村園内での民俗芸能公演。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	民俗村芸能公演	市民		鬼剣舞国指定20年記念として9/8に国指定4団体の合同公演を行った。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	284	170	125	169	
人件費	1,317	1,718	162	393	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,601	1,888	287	562	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	開催回数	4回	5回	2回	1回	
02	出演団体数	4団体	5団体	2団体	4団体	
03	鑑賞者数	1,354人	3,056人	2,664人	285人	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

04	芸能公演1回当りコスト	400千円	378千円	144千円	562千円	
05	芸能公演1公演当りコスト	400千円	378千円	144千円	141千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

例年はさくらまつり期間等に数回行っているが、24年度は鬼剣舞国指定20年の年だったので、9/8の1回にまとめ国指定4団体を招いて合同公演を行った。

問題点・課題等

限られた予算の中で行うため、出演団体の選定の幅が狭い。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明